

第1日目 (11月15日 (金))

大ホール

8:40～8:55

開会式

8:55～9:15

会長講演

JSAS Next 10 years ～ No Border ～ 航空医療における「タテ」の連携「ヨコ」の連携

▶ 米盛 輝武 (社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター長)

9:15～11:25

パネルディスカッション1/災害時におけるドクターヘリ運用～基地病院・運航会社の壁を越えた「タテ」の連携「ヨコ」の連携～
(4学会合同委員会 災害時ドクターヘリのあり方検討WG 合同企画)

座長 高山 隼人 (国立病院機構 長崎医療センター)

本村 友一 (日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター)

PD-1-1 災害時ヘリあり方検討ワーキンググループ報告「医療搬送ニーズ」

▶ 山下 典雄 (久留米大学病院 高度救命救急センター)

PD-1-2 4学会合同委員会 災害時ヘリあり方検討WG 報告「派遣調整」報告

▶ 三村 誠二 (国立病院機構本部 DMAT 事務局)

PD-1-3 4学会合同委員会 災害時ヘリ在り方WG (被災地内活動・受援)

▶ 中村 光伸 (前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科)

PD-1-4 災害時にドクターヘリを活用するための九州での取り組み

▶ 久城 正紀 (福岡県済生会福岡総合病院 救命救急センター)

PD-1-5 広域災害時用ドクターヘリ出動マニュアル (略称: 広域災害出動マニュアル)(案) の策定

▶ 井上 潤一 (日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急科)

PD-1-6 近畿 DMAT ブロック訓練における航空フロー策定の議論と問題点

▶ 竹川 良介 (大阪大学 医学部 附属病院)

PD-1-7 災害時に連携するために必要な平時からのブロックの取り組み

▶ 早川 達也 (聖隷三方原病院 高度救命救急センター)

PD-1-8 令和6年能登半島地震におけるドクターヘリ本部の活動報告

▶ 蜂谷 聡明 (石川県立中央病院 救急科)

PD-1-9 能登半島地震での富山県ドクターヘリの活動

▶ 松井恒太郎 (富山県立中央病院)

PD-1-10 被災県におけるCS業務を経験して (令和6年能登半島地震)

▶ 竹葉 智己 (中日本航空株式会社)

11:25～13:35

／ パネルディスカッション2／災害時における多機関連携～機関の壁を越えた「タテ」の連携「ヨコ」の連携～

座長 町田 浩志 (国立病院機構 高崎総合医療センター 救命救急センター)
小谷 聡司 (防衛省人事教育局衛生官付防衛部員)

PD-2-1 令和6年能登半島地震におけるCH47による医療搬送

▶久城 正紀 (福岡県済生会福岡総合病院 救命救急センター)

PD-2-2 災害時の航空機運用におけるCSの役割

▶渡邊 紀子 (中日本航空株式会社)

PD-2-3 令和6年能登半島地震における多機関の連携～ヒヤリハット事例～

▶清水 貴也 (石川県消防防災航空隊)

PD-2-4 宮崎県防災救急航空隊の医療機関との繋がり

▶曾根崎友章 (宮崎県防災救急航空隊)

PD-2-5 災害時の搬送調整体制とドクヘリの役割

▶近藤 久禎 (独立行政法人国立病院機構本部 DMAT 事務局)

PD-2-6 大規模災害時における効果的・効率的な航空運用に係る多機関連携

▶藤井 健夫 (陸上自衛隊 第15旅団 第15ヘリコプター隊)

PD-2-7 令和6年能登半島地震におけるドクターヘリ調整部の活動報告

▶南 啓介 (石川県立中央病院 救命救急センター)

PD-2-8 能登半島地震における自衛隊高齢者航空医療搬送

▶津田 雅庸 (愛知医科大学 災害医療研究センター)

PD-2-9 能登半島地震での自衛隊航空機搬送の受入から学んだ連携の難しさ

▶大鋸 立邦 (富山県立中央病院 救急科)

PD-2-10 国民保護法～住民避難想定におけるドクターヘリの活用についての一考察

▶佐々木秀章 (沖縄赤十字病院)

14:50～15:50

／ 教育講演(専門医共通講習) 感染

座長 梅村 武寛 (琉球大学 救急医学講座)

地域包括ケアにおける感染管理～在宅から病院までを繋ぐ～

▶高山 義浩 (沖縄県立中部病院感染症内科・地域ケア科 副部長)

第1日目 (11月15日(金))

大ホール

16:00～17:50

／ パネルディスカッション3／重症患者の航空機搬送 ～生命を繋ぐ「タテ」の連携「ヨコ」の連携～

座長 那須 道高 (社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター)
星野 耕大 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 救命救急センター)

PD-3-1 重症患者搬送

▶小倉 崇以 (済生会宇都宮病院 栃木県救命救急センター)

PD-3-2 石垣島から沖縄本島への航空機を使った ECMO 患者搬送の経験

▶西村 朋也 (沖縄県立八重山病院 救急科)

PD-3-3 奄美大島における重症患者搬送の現状

▶中村健太郎 (鹿児島県立大島病院救命救急センター)

PD-3-4 ECMO・Impella 装着患者の航空医療搬送の実際

▶菅原 誠一 (手稲溪仁会病院 臨床工学部)

PD-3-5 小児重症患者固定翼機搬送試験運航事業の現状と将来の展望

▶福寫 教偉 (特定非営利活動法人日本重症患者ジェット機搬送ネットワーク)

PD-3-6 メディカルウイングにおける重症患者搬送—小児症例を中心に

▶奈良 理 (手稲溪仁会病院 救命救急センター)

PD-3-7 新型コロナウイルスは自衛隊救急患者空輸数にも影響をもたらした

▶木村 幹彦 (防衛医科大学校 防衛医学研究センター 特殊環境衛生研究部門)

PD-3-8 広域搬送における運航連絡調整員の役割について

▶山川敬一郎 (新潟県東部ドクターヘリ 運航管理室)

第1日目 (11月15日(金))

小ホール

9:15～11:25

／ シンポジウム2 / 島嶼地域・へき地をエリアで担う航空医療体制 ～行政の壁を越えた「タテ」の連携「ヨコ」の連携～

座長 其田 一 (市立釧路総合病院 麻酔科)
吉原 秀明 (鹿児島市立病院 救命救急センター)

- SY-2-1 島嶼県沖縄での新型コロナウイルス感染症空路移送(搬送)の経験
▶佐々木秀章(沖縄赤十字病院)
- SY-2-2 面で支えるシームレスな島嶼エリアの航空医療のために
▶米盛 輝武(社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター)
- SY-2-3 運航開始8年目の奄美ドクターヘリが抱える課題
▶中村健太郎(鹿児島県立大島病院救命救急センター)
- SY-2-4 長崎県における離島医療政策グランドデザインに基づいた航空医療体制構築
～継続的な中核親元病院救急医参画の重要性～
▶増田 幸子(国立病院機構長崎医療センター 高度救命救急センター)
- SY-2-5 鹿児島県の離島救急医療について
▶田中佑太郎(鹿児島県防災航空隊)
- SY-2-6 第十一管区海上保安本部で行っている離島急患輸送の救援について
▶上治 悟(第十一管区海上保安本部警備救難部 救難課業務係)
- SY-2-7 福島県、富山県を跨ぐ新潟県西部ドクターヘリ運用の現状と課題
▶谷本 弘幸(長岡赤十字病院 救命救急センター)
- SY-2-8 冬季の遠隔地・離島における空路搬送支援
▶宮島 衛(長岡赤十字病院 救命救急センター)
- SY-2-9 都市型ドクターヘリ運用と県域を越えた連携への取り組み
▶加藤聡一郎(杏林大学医学部救急医学)
- SY-2-10 北海道における航空医療搬送の現状と課題
▶安部 哲夫(中日本航空株式会社 運航管理部)

11:35 ~ 13:05

シンポジウム 3 / 運航クルーと医療スタッフが紡ぐ航空医療の絆 ~職種の壁を越えた「タテ」の連携「ヨコ」の連携~

座長 北村 伸哉 (君津中央病院 救命救急センター)
丹羽 政晴 (中日本航空株式会社 安全推進室)

SY-3-1 重複要請対応における当センターの職種を超えたタテとヨコの連携
▶永嶋 太 (公立豊岡病院 但馬救命救急センター)

SY-3-2 ヘリ要請に医師判断を加えることで重複要請のキャンセルを減らす
▶木村 健介 (水戸済生会総合病院 脳神経内科)

SY-3-3 落着事故から学んだ運行会社・運航クルーとの連携
▶辻 友篤 (東海大学 医学部 救命救急医学)

SY-3-4 常日頃からのコミュニケーションの重要性、AMRM 訓練の活用
▶山田健太郎 (朝日航洋株式会社 運航統括部 東日本運航部 EMS グループ)

SY-3-5 医療クルー - 運航クルー - 関係機関における連携の重要性
▶米盛 輝武 (社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター)

SY-3-6 運航クリューと医療スタッフの連携について
▶石坂 敏彦 (鹿児島国際航空株式会社 業務部)

14:50 ~ 16:10

シンポジウム 7 / 現場からの報告 能登地震におけるドローンを使った多職種連携による災害支援活動「私たちはどのようにして現場活動を構築したか？」

座長 横田 勝彦 (東京電機大学 救急推進社会連携センター)
本村 友一 (日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター)

SY-7-1 令和 6 年能登半島地震を経験してみえた災害時におけるドローン活用の課題
▶久城 正紀 (福岡県済生会福岡総合病院 救命救急センター)

SY-7-2 能登半島地震における病院・社会福祉施設への物資支援対応とドローン活用の可能性
▶田坂 勇太 (国立病院機構本部 DMAT 事務局)

SY-7-3 ドローンを活用した災害対応の実績と課題
▶曾谷 英司 (イームズロボティクス株式会社)

SY-7-4 能登半島地震におけるドローンを活用した医薬品配送
~今後どのようにすれば早期活用に至れるのか?~
▶柴田 隼人 (愛知医科大学 災害医療研究センター)

SY-7-5 能登半島の厳しい気象条件下でのドローン安全運航支援及び動態情報共有に関する課題
▶後藤 研 (株式会社ウェザーニューズ 航空気象事業部)

16:20～17:40

／ パネルディスカッション4／フライトナースの育成～先輩から後輩へ世代を越えた「タテ」の連携「ヨコ」の連携～

座長 坂田久美子 (愛知医科大学 看護学部)
比嘉 祥之 (沖縄県立中部病院 ICU)

PD-4-1 委員会主催フライトナース勉強会参加者が求める勉強会テーマ

▶野澤 陽子 (順天堂大学医学部附属順天堂医院)

PD-4-2 A 病院のフライトナース教育の取り組みと今後の課題

▶二俣 美鶴 (日本医科大学 千葉北総病院 救急外来)

PD-4-3 ドクターヘリ体験搭乗が及ぼすワーク・エンゲージメントの変化

▶塩塚 築 (長崎医療センター 高度救命救急センター 看護師)

PD-4-4 フライトナースの教育ニーズに関する調査

▶丹羽由美子 (愛知医科大学病院)

PD-4-5 フライトナース育成には多職種の実介入が必要か？

▶尾崎 雅人 (公立豊岡病院 但馬救命救急センター)

9:15~10:00

一般演題1 / 連携(多機関・多職種・地域) ①

座長 佐藤 友子 (済生会熊本病院)

- 0-1-1 Dr.Heli 活動後即日に行う消防とのデブリーフィングが与える心理的効果
▶内田 桃子 (信州大学医学部附属病院 高度救命救急センター)
- 0-1-2 香川ドクターヘリ症例検討会の現状と今後の展望
▶長池 智子 (香川県立中央病院 救命救急センター)
- 0-1-3 多職種間連携の推進に向けた消防機関との取り組み
▶杉山 遥 (順天堂大学医学部附属静岡病院)
- 0-1-4 Web 会議ツールを用いた消防機関とのデブリーフィングの実施
▶後村 瑞穂 (八戸市立市民病院 救命救急センター)
- 0-1-5 船上 CPA 蘇生後、海上保安部ヘリ搬送され転帰良好であった一例
▶釣井 採香 (高知医療センター 救命救急センター)
- 0-1-6 太平洋沖での洋上救急の一例
▶丸岡 綾 (徳島県立中央病院 看護局)

10:10~10:55

一般演題2 / 連携(多機関・多職種・地域) ②

座長 福島 英賢 (奈良県立医科大学)

- 0-2-1 ドクターヘリ2機で対応した多数傷病者事例の検討
▶宮川乃理子 (独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター 救急科)
- 0-2-2 和歌山県ドクターヘリとドクターカーで連携対応した多数傷病事案
▶米満 尚史 (和歌山県立医科大学附属病院 高度救命救急センター)
- 0-2-3 高速道路多重衝突事故対応で経験した他県ドクターヘリとの連携
▶園田健一郎 (埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター)
- 0-2-4 高知県のヘリ送り込み事案における消防・航空隊との連携
▶浅羽 直 (高知医療センター 救命救急科)
- 0-2-5 基幹病院と連携、地上隊からのバトン、BLS一時中断を回避せよ
▶岩崎 吉登 (鳥取県消防防災航空隊)
- 0-2-6 ドクターヘリ・ハイブリッドERの連携プレー 外傷診療の二刀流
▶大村 健史 (徳島県立中央病院 救急外科・外傷センター)

11:05 ~ 11:50

一般演題3 / 連携 (多機関・多職種・地域) ③

座長 本間 正人 (鳥取大学医学部 救急・災害医学)

- 0-3-1 ドクターヘリ活動における無線不感地帯での通信手段確立にむけて
▶ 結城千恵美 (国保直営総合病院 君津中央病院 救命救急センター)
- 0-3-2 共同指令センター発足に伴うドクターヘリの機能的運用方法の確立
▶ 塚本 菜穂 (大分大学医学部 救急医学)
- 0-3-3 迅速な医療介入を目指した浜松ドクターヘリの23年間の取り組み
▶ 原田 薫 (聖隷三方原病院 整形外科)
- 0-3-4 旭川医科大学病院におけるドクターヘリ搬送症例の検討
▶ 難波 亮 (旭川医科大学病院 救急科)
- 0-3-5 病院近傍医療圏内におけるドクターヘリ活動の有用性
▶ 岡 翔 (京都府立医科大学 救急医療学教室)

12:00 ~ 12:45

一般演題4 / 連携 (多機関・多職種・地域) ④

座長 柳川 洋一 (順天堂大学医学部附属静岡病院)

- 0-4-1 地域の診療連携にて救命しえた外傷事例2例
▶ 柴田 尚明 (和歌山県立医科大学 救急集中治療医学講座)
- 0-4-2 市民Bystander CPRとドクヘリ連携が奏功した拡張型心筋症に合併したVT1症例
▶ 宍戸 肇 (香川大学医学部附属病院救命救急センター)
- 0-4-3 ダイビング事故事案に対する他職種連携強化に向けた取り組み
▶ 鬼塚 味佳 (順天堂大学医学部附属静岡病院)
- 0-4-4 ツールドおきなわにおけるドクターヘリ運用
▶ 出口 宝 (北部地区医師会 もとぶ野毛病院)
- 0-4-5 医療行為施行時の、防災ヘリ・救急車での医師無し搬送への課題
▶ 原富 由香 (熊本赤十字病院 救急科)
- 0-4-6 局地災害に対する広域ドクターヘリ協定の必要性
▶ 船木 裕 (日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター)

13:45～14:45

ランチョンセミナー 1

座長 米盛 輝武 (社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター)

ドクターヘリ DX 最前線～全国各地に広がる事例～

- ▶ 上條 泰 (信州大学医学部附属病院 高度救命救急センター)
- ▶ 西山 慶 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 救命救急医学分野)
- ▶ 園生 智弘 (TXP Medical 株式会社)

14:50～15:50

一般演題 5 / 運航・運航管理

座長 中川 儀英 (東海大学)

0-5-1 当院でのBK-117 D-3/C-2の運用経験と比較検討

- ▶ 玉置 祐斗 (岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター)

0-5-2 気象条件とヘリ出動回数：ベイズ法によるポアソン回帰分析

- ▶ 大西 新介 (手稲溪仁会病院 救命救急センター)

0-5-3 ランデブーポイント管理システムの開発から考えるCSの未来像

- ▶ 三谷 信貴 (中日本航空株式会社 運航管理部)

0-5-4 福島県ドクターヘリのサマータイム運用に関して

- ▶ 三澤 友誉 (福島県立医科大学 救急医療学講座)

0-5-5 携帯電話等の上空利用について

- ▶ 山田 崇史 (朝日航洋株式会社 運航統括部)

0-5-6 被災県外基地でのドクターヘリ災害派遣CS業務を経験して

- ▶ 能代谷 晃 (中日本航空株式会社 運航管理部)

0-5-7 医療関係ヘリコプターの夜間運用要件、DHを中心に

- ▶ 辻 康二 (株式会社 フジアビエーションシステムズ)

0-5-8 ドクターヘリ運行会社変更による対応と課題

- ▶ 島崎 映美 (社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター)

16:00～17:50

／ パネルディスカッション5／フライトドクターの育成～先輩から後輩へ世代を越えた「タテ」の連携「ヨコ」の連携～

座長 八木 正晴 (昭和大学 救急災害医学講座)
間山 泰晃 (社会医療法人敬愛会 中頭病院)

PD-5-1 “八戸流” フライトドクターの育成

▶十倉 知久 (八戸市立市民病院 救命救急センター)

PD-5-2 宮崎県での先輩から後輩へ世代を越えたフライトドクターの育成

▶佐々木 朗 (宮崎大学医学部附属病院 救命救急センター)

PD-5-3 但馬救命 DH 指導医への道のり

▶間 崇史 (公立豊岡病院 但馬救命救急センター)

PD-5-4 北総 HEMS 病院前教育プログラム (HPEP)

▶上田太一郎 (日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター／ショック・外傷センター)

PD-5-5 前橋赤十字病院におけるフライトドクターの育成

▶金畑 圭太 (前橋赤十字病院 集中治療科・救急科)

PD-5-6 高知県におけるフライトドクター認定要件の再検討

▶竹内 慎哉 (高知大学 医学部 災害・救急医療学講座)

PD-5-7 プレホスピタルの経験を増やす準基地病院での工夫

▶水田 宜良 (兵庫県立はりま姫路総合医療センター救急科)

PD-5-8 フライトドクター育成における災害医療教育

▶高間 辰雄 (鹿児島市立病院 救命救急センター)

練習室1

9:15~10:00

All Japan HEMS Championship オリエンテーション

10:10~10:55

一般演題6 / システム・データ管理・JSAS-R ①

座長 小橋 大輔 (前橋赤十字病院 集中治療科・救急科)

- ▶ O-6-1 呼吸介入を要した症例：JSAS-R データを用いた記述的研究
▶ 伊禮 奏子 (福井県立病院 救命救急センター)
- ▶ O-6-2 ドクターヘリでの病院前心電図の有用性 JSAS-R 後ろ向き解析
▶ 中田 貴史 (東北大学病院 高度救命救急センター)
- ▶ O-6-3 ドクターヘリ出動院外心停止患者への骨髄路と昇圧薬投与の関連
▶ 工藤 秀将 (大崎市民病院 救急科)
- ▶ O-6-4 ドクターヘリ搬送された急性大動脈解離症例の予後予測因子
▶ 梶原 大輝 (大分大学医学部救急医学)
- ▶ O-6-5 ドクターヘリ活動時間に影響を与える要因：JSAS-R 観察研究
▶ 佐藤 哲哉 (東北大学病院 高度救命救急センター)
- ▶ O-6-6 ドクターヘリ現場滞在時間遷延の要因：JSAS-R データ解析
▶ 河野 伶奈 (山口大学医学部附属病院 先進救急医療センター)

11:05~11:50

一般演題7 / システム・データ管理・JSAS-R ②

座長 和氣 晃司 (獨協医科大学)

- ▶ O-7-1 JSAS-R を用いた病院前外傷性 CPA 患者の予後解析
▶ 長澤 宏樹 (順天堂大学医学部附属静岡病院 救急診療科)
- ▶ O-7-2 腹部外傷における現場での開胸大動脈遮断の有用性の検討
▶ 上野 太輔 (川崎医科大学 救急医学)
- ▶ O-7-3 離島出動の特徴：JSAS-R データ解析
▶ 金田浩太郎 (山口大学医学部附属病院 先進救急医療センター)
- ▶ O-7-4 ドクターヘリ現場要請症例における非生理学的緊急度の妥当性
▶ 奥田 宏純 (南奈良総合医療センター 救急科)
- ▶ O-7-5 COVID-19 流行がドクターヘリ活動と患者転帰に与えた影響
▶ 有次 葵 (大分大学医学部 救急医学)
- ▶ O-7-6 道央ドクターヘリにおける10年間の病院前処置の検討
▶ 渡辺 梨花 (手稲溪仁会病院 救命救急センター)

12:05 ~ 12:45

一般演題8 / 疾患 (外因性疾患) ①

座長 大村 健史 (徳島県立中央病院)

- 0-8-1 群馬 HEMS により当院搬送された外傷性心停止の予後因子の検討
▶ 永山 純 (前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科)
- 0-8-2 重症外傷の一例を通して見えた近隣に救急医のいない地域の課題
▶ 栗原茉莉子 (牧田総合病院)
- 0-8-3 外傷の存在が推測困難であった、家屋内での多発骨折、脂肪塞栓症
▶ 小山 敬 (地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館 救命救急センター)
- 0-8-4 ドクターヘリ搬送が有効であった重症外傷性頸髄損傷の2例
▶ 後藤 雅史 (久留米大学病院 高度救命救急センター)
- 0-8-5 外傷性横隔膜ヘルニアを合併した気胸への胸腔ドレナージの一例
▶ 菊地 一樹 (昭和大学 医学部 救急・災害医学講座)

12:50 ~ 13:30

一般演題9 / 疾患 (外因性疾患) ②

座長 岡田 邦彦 (佐久医療センター 救命救急センター)

- 0-9-1 航空搬送 COVID-19 重症患者に関する既報のデータ解析
▶ 武石 宗一 (総合犬山中央病院 内科)
- 0-9-2 外傷患者接触前要請と接触後要請における重症度、緊急度の比較
▶ 上野 太輔 (川崎医科大学 救急医学)
- 0-9-3 重症熱傷の初期診療におけるドクターヘリの有効性
▶ 種子島夕佳 (済生会滋賀県病院 救命救急センター・救急集中治療科)
- 0-9-4 熊本県ドクターヘリの病院前蘇生的開胸術の現状と課題
▶ 福本 綾香 (熊本赤十字病院 救急科)
- 0-9-5 切断指症例はドクターヘリ搬送とすべきか？
▶ 山川 泰明 (高知医療センター 救命救急センター)

13:45 ~ 14:45

ランチョンセミナー2

座長 畑中 哲生 (健和会大手町病院 救急科)

- ハイパフォーマンス CPR の実践へ～CPR の質の測定が導く活動と意識の変化～
- ▶ 立松 健二 (尾三消防本部)
 - ▶ 森 一郎 (大島地区消防組合消防本部)

15:00～17:00

パネルディスカッション6/有事の多機関連携に繋げる実働訓練の工夫～「平時」から「有事」へ場面を越えた「タテ」の連携「ヨコ」の連携～

座長 早川 達也 (聖隷三方原病院 高度救命救急センター)
金丸 勝弘 (宮崎県立延岡病院 救命救急科)

PD-6-1 大規模災害における空路調整部門を担うスタッフをどう育成するか

▶川上 翔平 (日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター)

PD-6-2 海上保安庁(縦)と医療・消防(横)の離島有事に備えた連携訓練

▶大久保克彦 (鹿児島市立病院 救命救急センター)

PD-6-3 多機関連携をふまえた航空機による洋上救急慣熟訓練の報告

▶杉田真理子 (東海大学医学部 総合診療学系 救命救急医学)

PD-6-4 海上保安庁のヘリコプター実機を用いた洋上救急訓練の取り組み

▶山尾 幸平 (りんくう総合医療センター 大阪府泉州救命救急センター)

PD-6-5 医療現場における日米連携強化のために～現場視点の訓練を通して～

▶米盛 輝武 (社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター)

PD-6-6 原子力事業所管理区域内汚染事案に対する福井県ドクターヘリ対応

▶谷崎 真輔 (福井県立病院 救命救急センター)

PD-6-7 防災ヘリコプターのホイスト降下による現場からの診療開始

▶小橋 大輔 (前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科)

PD-6-8 救急救命士と医療スタッフのジョイントトレーニング

▶白水 俊輔 (兵庫県はりま姫路総合医療センター 救急科)

PD-6-9 大規模地震時医療活動訓練における空路医療搬送訓練企画について

▶久城 正紀 (福岡県済生会福岡総合病院 救命救急センター)

第1日目 (11月15日(金))

多目的室1

9:15~10:10

一般演題10 / 疾患 (内因性疾患)

座長 藤田 康雄 (秋田赤十字病院)

- O-10-1** ドクターヘリコプターによって搬送された中毒患者の現状
▶柳川 洋一 (順天堂大学医学部附属静岡病院 救急診療科)
- O-10-2** 職員による初期対応が救命につながったゴルフ場発生 CPA 例
▶岡本 博之 (手稲溪仁会病院 救命救急センター)
- O-10-3** ドクターヘリの現場活動における神経疾患の診断精度を検証する
▶工藤 俊介 (佐久総合病院 佐久医療センター 救急科)
- O-10-4** くも膜下出血に対するドクターデリバリーの効果
▶金苗 幹典 (久留米大学医学部 救急医学講座)
- O-10-5** 電氣的除細動適応波形患者の予後調査
▶萩原 裕也 (前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科)
- O-10-6** 航空機搭乗中に発症した非医原性脳空気塞栓症の1例
▶松村 卓哉 (大分大学医学部附属病院 高度救命救急センター)
- O-10-7** 腹部大動脈瘤破裂に REBOA 留置しドクターヘリ搬送した症例
▶中村 壮史 (鹿児島県立大島病院)

10:20~11:15

一般演題11 / MC・検証体制・その他

座長 越後 整 (済生会滋賀県病院)

- O-11-1** 通信指令員の葛藤 通報時緊急度判定とドクターヘリの覚知時要請
▶宮崎伊佐夫 (伊勢赤十字病院 救急部)
- O-11-2** ドクターヘリの覚知時要請プロトコルは有効か -第2報-
▶説田 守道 (日本赤十字社 伊勢赤十字病院 救命救急センター)
- O-11-3** ドクターヘリ要請におけるオーバートリアージに関わる要因
▶國武 直人 (大分大学医学部 救急医学)
- O-11-4** 近隣医療機関に救急車搬送となったドクターヘリ要請症例の検討
▶清水 隆文 (手稲溪仁会病院 救命救急センター)
- O-11-5** ホイスト装置使用による医師現場投入の効果
▶宗村 佑人 (鳥取県立中央病院 高次救急集中治療センター)
- O-11-6** 道央ドクターヘリ不応需事案の予後調査
▶岡本 博之 (手稲溪仁会病院 救命救急センター)
- O-11-7** 岩手県における「ヨコ」の連携
▶小守林靖一 (岩手医科大学 岩手県高度救命救急センター)

11:25 ~ 12:30

一般演題 12 / 地域医療 (島嶼医療・へき地医療)

座長 大森 一彦 (順天堂大学医学部附属静岡病院)

- 0-12-1 地域中核ヘリ受入病院における19年間の実績からみた今後の展望
▶ 宮越 達也 (黒部市民病院 救急科)
- 0-12-2 奄美群島の航空医療における光と影
▶ 才 あゆみ (鹿児島県立大島病院 救命救急センター)
- 0-12-3 鹿児島県のRPを活用したDH現場活動のへき地における課題
▶ 吉原 秀明 (鹿児島市立病院 救急科)
- 0-12-4 島嶼部で発生した院外心停止に体外循環式心肺蘇生を行った1例
▶ 乙宗佳奈子 (香川県立中央病院 救命救急センター)
- 0-12-5 フライトスタッフが一時的に収容した病院で診療した経験について
▶ 齋藤 兄治 (青森県立中央病院 救命救急センター)
- 0-12-6 離島の医療について、高校時代の自分が感じたこと
▶ 渡邊晃士郎 (国際医療福祉大学看護学部)
- 0-12-7 医療用コミュニケーションアプリを用いた、速やかな患者搬送
▶ 松成 修 (大分中村病院 消化器内科)
- 0-12-8 消防非常備島嶼部におけるドクターヘリ活動と救急艇就航後の変化
▶ 高橋 治郎 (川崎医科大学 救急医学)
- 0-12-9 岩手県北部の効率的なドクターヘリ運用を目指して
▶ 吉村 有矢 (八戸市立市民病院 救命救急センター)

12:40 ~ 13:20

一般演題 13 / 安全・安全管理

座長 廣橋 伸之 (広島大学 原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療開発研究分野)

- 0-13-1 ドクターヘリ搬送に関わるインシデント・アクシデント事例の検討
▶ 石川 雅彦 (公益社団法人 地域医療振興協会 地域医療安全推進センター)
- 0-13-2 道南ドクターヘリにおける「忘れ物」件数削減への取り組み
▶ 吉田 亮太 (市立函館病院 看護部)
- 0-13-3 病院前救急に従事する看護師の安全管理教育の現状と今後の課題
▶ 平田 沙織 (社会医療法人緑泉会 米盛病院 看護部)
- 0-13-4 EC135でのストレッチャー構造に起因するアクシデント報告
▶ 森 勇人 (徳島県立中央病院 救命救急センター)
- 0-13-5 無線等不感地域でのトンネル内交通事故対応で得た経験と課題
▶ 小守林靖一 (岩手医科大学 岩手県高度救命救急センター)

13:45 ~ 14:45

ランチョンセミナー3

座長 北村 伸哉 (君津中央病院 救命救急センター)

IP無線機による情報共有(データ通信・画像伝送)

▶大森 一彦 (順天堂大学医学部附属静岡病院 救急診療科)

15:00 ~ 15:45

一般演題14/その他①

座長 岡本 博之 (手稲溪仁会病院 救命救急センター)

O-14-1 蚊族調査における航空機調査機数の季節変動(発航空港)

▶武石 宗一 (総合犬山中央病院 内科)

O-14-2 蚊族調査における航空機調査機数の季節変動(到着空港)

▶武石 宗一 (総合犬山中央病院 内科)

O-14-3 サーキットにおける患者空輸について

▶伊藤 貴彦 (独立行政法人大牟田市立病院)

O-14-4 無人航空機(ドローン)による輸血用血液輸送の方法論のまとめ

▶薬師寺恒紀 (横浜薬科大学 薬剤学研究室)

O-14-5 イギリス・ドイツのHEMSから学ぶ日本のドクターヘリへの応用

▶大森 一彦 (順天堂大学 医学部 附属静岡病院)

O-14-6 ドクターヘリにおける自動式胸骨圧迫装置使用時の新たな工夫

▶勝田 賢 (東北大学病院 高度救命救急センター)

16:00 ~ 16:45

一般演題15/その他②

座長 岩崎 安博 (独立行政法人労働者健康安全機構 和歌山労災病院 救急集中治療部)

O-15-1 愛媛県ドクターヘリの活動時間に及ぼす影響~空港 vs 病院~

▶田中 光一 (愛媛県立中央病院)

O-15-2 A病院のフライトナースの育児休業取得と勤務の実態調査

▶吉岡 怜美 (総合病院 聖隷三方原病院)

O-15-3 A病院におけるフライトナースの時間外業務の現状

▶榊山麻由佳 (愛知医科大学 高度救命救急センター)

O-15-4 救命救急センター看護師が待機中のフライトナースに期待する役割

▶新垣 拓也 (社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター外来)

O-15-5 京滋ドクターヘリの広報活動の取り組み

▶尾島 由美 (済生会滋賀県病院 看護部 救急外来)

O-15-6 九州地区のフライトナース交流会を開催して

▶真子 敬史 (久留米大学病院 高度救命救急センター)

17:00～17:55

一般演題16/その他③

座長 本多 忠幸 (新潟大学医学部 救急医学教室)

0-16-1 ドクターヘリで転院搬送した臍帯脱出の1例

▶菅谷 一樹 (福島県立医科大学 医学部 救急医療学講座)

0-16-2 ドクターヘリ活動における小児重症外傷症例の対応の困難さの検討

▶堀川慎二郎 (富山県立中央病院 集中治療科)

0-16-3 ドクターヘリ接触前の対応が功を奏した墜落分娩の一例

▶富田 大祐 (新潟大学医歯学総合病院 高度救命災害医療センター 医師)

0-16-4 外傷症例のドクターヘリ搬送における成人と比較した小児の現状

▶宮本 聡美 (川崎医科大学 救急医学)

0-16-5 二次被害の危険があった崩落土砂救助事案

▶上村 夏生 (新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター)

0-16-6 ドクターヘリでの病院前血中乳酸値測定の有用性

▶飯澤 勇太 (国保直営総合病院 君津中央病院)

0-16-7 静岡県東部ドクターヘリにおける肥満患者の検討

▶大坂 裕通 (順天堂大学医学部附属静岡病院 救急診療科)

第2日目 (11月16日(土))

大ホール

9:00～9:20

会員総会

9:30～11:30

シンポジウム6①/DXが繋ぐ現場・医療機関のシームレスな情報共有～リアルタイムの情報共有が繋ぐ「タテ」の連携「ヨコ」の連携～

座長 松本 省二 (藤田医科大学 脳卒中科)

小山 裕司 (東京都立産業技術大学院大学 産業技術専攻 (情報アーキテクチャコース))

SY-6①-1 ICTを活用した脳卒中チーム医療の取り組み

▶松本 省二 (藤田医科大学 脳卒中科)

SY-6①-2 病院前情報による病院到着時バイタルサインの予測

▶川井 廉之 (奈良県立医科大学 高度救命救急センター)

SY-6①-3 救急医療のDX化に必要なアプローチ及び未来像

▶大岡 慎弥 (旭化成株式会社 デジタル共創本部 DX 経営推進センター 事業戦略推進部)

SY-6①-4 ドクターヘリDX～理想・現実・ハードル～

▶園生 智弘 (TXP Medical 株式会社 代表取締役)

SY-6①-5 DXを活用した複数機関での情報共有、現場滞在短縮への試み

▶板井 純治 (広島大学大学院救急集中治療医学)

SY-6①-6 同時通話システムの利用が現場滞在時間の短縮に寄与する可能性

▶出内 主基 (新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター)

SY-6①-7 ドクターヘリ活動におけるJUST-7スコアの有用性

▶岡野 雄一 (熊本赤十字病院 救急科)

SY-6①-8 ヘリ+Joinの情報連携DX化で、Drip & Ship運用の高度化を目指す

▶田中 大輔 (株式会社アルム ソリューション部 部長)

SY-6①-9 スマホ完結型DXで挑む「タテ」と「ヨコ」の画像動画情報連携

▶上條 泰 (信州大学医学部附属病院 高度救命救急センター)

第2日目 (11月16日(土))

大ホール

11:30 ~ 13:10

／ シンポジウム6②／ DXが繋ぐ現場・医療機関のシームレスな情報共有 ~リアルタイムの情報共有が繋ぐ「タテ」の連携「ヨコ」の連携~

座長 山下 典雄 (久留米大学病院 高度救命救急センター)
横田 勝彦 (東京電機大学 救急推進社会連携センター)

SY-6②-1 航空医療「タテ」と「ヨコ」の連携 平常時と災害時を繋ぐDX

▶高森 美枝 (株式会社ウェザーニューズ)

SY-6②-2 セッション「航空医療におけるDX」

— IP無線を介したデータ転送、動態監視、音声通信を融合させた連携 —

▶宮本 隆弘 (IP-Net 株式会社)

SY-6②-3 インターネット機内Wi-Fi、ドクターヘリへ導入可能か？

▶水野 光規 (あいち小児保健医療総合センター)

SY-6②-4 乗員年齢不明における救急自動通報での医師派遣の閾値検討

▶本村 友一 (日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター)

SY-6②-5 ドクターヘリ運用における12誘導心電図伝送の有用性について

▶石倉 健 (三重大学医学部附属病院 高度救命救急・総合集中治療センター)

SY-6②-6 愛知県ドクターヘリのCPA対応とリアルタイム動画伝送の効果

▶寺島 嗣明 (愛知医科大学病院 高度救命救急センター)

SY-6②-7 電波法改正による、ヘリ飛行中のiphoneを用いた情報共有

▶杉浦 岳 (前橋赤十字病院 集中治療科・救急科)

13:30 ~ 14:30

／ All Japan HEMS Championship Final Stage

14:30 ~ 15:00

／ 成績発表、表彰式・閉会式

第2日目 (11月16日(土))

小ホール

9:30～11:10

シンポジウム5/ドクターカー・ドクターヘリの連携プレー～「空」と「陸」チームの枠を越えた「タテ」の連携「ヨコ」の連携～
(日本病院前救急診療医学会合同企画)

座長 今 明秀 (八戸市立市民病院)
小林 誠人 (鳥取県立中央病院 高次救急集中治療センター 救急集中治療科/救急外傷外科)

SY-5-1 陸と空のシームレスケアのカギはヘリ・カーの相互教育である

▶長野 健彦 (宮崎大学医学部附属病院 救命救急センター)

SY-5-2 当センターのドクターヘリのタテの連携とヨコの連携

▶永嶋 太 (公立豊岡病院 但馬救命救急センター)

SY-5-3 ドクターヘリを補完するドクターカー運用の現状と問題点

▶岩瀬 史明 (山梨県立中央病院 高度救命救急センター)

SY-5-4 八戸サンダーバード作戦

▶近藤 英史 (八戸市立市民病院救命救急センター)

SY-5-5 DH2 機体制と消防ヘリ、小児搬送チームが昇華する重症小児診療

▶石川祥一郎 (あいち小児保健医療総合センター 救急科)

SY-5-6 滋賀県湖北地域での運用機関の異なるドクターヘリ、カーの連携

▶白川 努 (長浜赤十字病院 整形外科)

SY-5-7 日本最北のドクターカー・ドクターヘリとへき地消防の連携

▶大滝 達也 (上川北部消防事務組合 下川消防署)

11:20～13:00

シンポジウム1/航空医療におけるタスクシェア・タスクシフト～職種を越えた「タテ」の連携「ヨコ」の連携～

座長 中村 元洋 (埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター)
儀間 辰二 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)

SY-1-1 タスクシェア/シフト 病院救命士を活かしたこれから航空医療

▶崎浜 秀 (社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター)

SY-1-2 院内救命士を活用した多職種連携の陸×空ミッション

▶大久保克彦 (鹿児島市立病院)

SY-1-3 ドクターヘリ多職種連携に欠かせない救急救命士の役割

▶安齋 勝人 (埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター救急科・(ER))

SY-1-4 フライトナースと診療看護師～職種を越える・・・は誰かの代わり?～

▶有賀 崇博 (聖隷三方原病院 高度救命救急センター)

SY-1-5 藤田医科大学病院におけるドクターヘリ運用開始とタスクシェアの実践

▶長澤 恭平 (藤田医科大学病院 救急科)

SY-1-6 チーム医療におけるフライト NP の可能性

▶大平 志帆 (藤田医科大学病院 FNP 室/救急科)

SY-1-7 航空医療における診療看護師 (NP) の介入の実際ータスクシフト・シェアの観点からー

▶江口 貴彦 (国立病院機構 長崎医療センター 統括診療部・高度救命救急センター 診療看護師 (NP))

9:30～11:00

／ シンポジウム4／新しい航空機の拓く航空医療の未来～テクノロジーが繋ぐ「タテ」の連携「ヨコ」の連携～

座長 荻野 隆光 (水島協同病院)
本村 友一 (日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター)

SY-4-1 現在のテクノロジー、将来の可能性

▶面高真理男 (レオナルドヘリコプターズ)

SY-4-2 ATR が切り拓く日本の未来

▶好田 二郎 (エアバス・ジャパン 執行役員 バイス・プレジデント兼 ATR 日本代表)

SY-4-3 空飛ぶクルマの取り組みと今後の展望について

▶藤園 光英 (株式会社 AirX 事業開発本部)

SY-4-4 無人航空機を活用した命を支えるラストワンマイル配送事業

▶高岡 捷人 (ANA ホールディングス株式会社 未来創造室 モビリティ事業創造部 ドローン事業チーム)

SY-4-5 「空飛ぶクルマ」による航空医療搬送システム

▶中本 亜紀 (慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科)

SY-4-6 現場活動に必要な相互情報連携プラットフォーム

▶横田 勝彦 (東京電機大学 救急推進社会連携センター)

11:05～11:50

／ 一般演題 17／災害・DMAT ①

座長 三村 誠二 (国立病院機構本部 DMAT 事務局)

O-17-1 空路搬送による病院避難は被災地内の給油・搬送拠点の設置が重要

▶町田 浩志 (国立病院機構高崎総合医療センター 救命救急センター 救急科)

O-17-2 災害時のドクターヘリ運航に対する備え

▶若原 聖徳 (社会福祉法人 恩賜財団 済生会滋賀県病院)

O-17-3 成田空港 emergo における Plan Red の有用性

▶井上 正章 (日本医科大学 千葉北総病院 救命救急センター)

O-17-4 鹿児島県総合防災訓練における航空運用訓練

▶高間 辰雄 (鹿児島市立病院 救命救急センター)

O-17-5 兵庫県におけるドクターヘリ調整部設置の現状

▶宮崎 大 (兵庫県立加古川医療センター 救急科)

11:55 ~ 12:40

一般演題 18 / 災害・DMAT ②

座長 森脇 義弘 (最上病院)

- 0-18-1 南海トラフ巨大地震において和歌山県において求められる搬送体制
▶ 岩崎 安博 (和歌山労災病院 救急集中治療部)
- 0-18-2 自衛隊機 CH-47 による広域搬送における提案
▶ 川副 友 (国立病院機構 仙台医療センター)
- 0-18-3 令和6年能登半島地震発災時の連絡手段についての振り返り
▶ 坂井 祐樹 (富山県立中央病院 救命救急センター)
- 0-18-4 能登半島地震における被災地からの地域航空医療搬送の経験と課題
▶ 河合 俊輔 (佐久総合病院佐久医療センター)
- 0-18-5 能登半島地震時の当院航空医療搬送の受け入れ状況とその課題
▶ 土井 智章 (富山大学学術研究部医学系 医学部 救急医学講座)
- 0-18-6 令和6年能登半島地震におけるフライトナース派遣の現状と課題
▶ 川谷 陽子 (愛知医科大学病院 看護部)

9:30 ~ 10:15

一般演題 19 / 教育 (スタッフの育成) ①

座長 高須 修 (久留米大学病院 高度救命救急センター)

- 0-19-1 ドクターヘリを活用した院外対応力向上への取り組み
▶宮本 和馬 (山梨県立中央病院 高度救命救急センター)
- 0-19-2 当院での他科からのフライトドクター養成プログラム
▶千田 鉄平 (香川大学 医学部 救命救急センター)
- 0-19-3 フライト活動における医師・看護師の連携
▶石田美穂子 (新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター)
- 0-19-4 OJT 指導者側の今後の課題
▶齋藤美香子 (独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター)
- 0-19-5 当院における院内救命士教育システムについて
▶藤江 聡 (東京医科歯科大学病院 救命救急センター)
- 0-19-6 海上保安官の外傷対応能力向上を目指したセミナーの効果と検証
▶小倉 勝弘 (日本体育大学 保健医療学部 救急医療学科)

10:20 ~ 11:05

一般演題 20 / 教育 (スタッフの育成) ②

座長 藤尾 政子 (川崎医科大学附属病院)

- 0-20-1 わが国のフライトナースの活動と教育の実態
▶中岡 正昭 (静岡県立大学 看護学部)
- 0-20-2 フライトナースの OJT におけるプリセプター制度導入について
▶山田 知弥 (社会福祉法人恩賜財団済生会支部茨城県済生会 水戸済生会総合病院)
- 0-20-3 指導的立場にあるフライトナースに対する継続教育の現状と課題
▶三浦 美穂 (旭川赤十字病院 ICU・CCU)
- 0-20-4 フライトナースの生涯学習の現状とニーズ
▶野村 昌夫 (済生会滋賀県病院 看護部 救急外来)
- 0-20-5 フライトナース (FN) 育成における段階的 Off-JT の有用性
▶岡本 淳平 (国保直営総合病院 君津中央病院 救命救急センター)
- 0-20-6 病院内の他部署研修制度を利用したフライトナース教育の取り組み
▶藤田 恵美 (鳥取大学医学部附属病院 高度救命救急センター)

11:10~11:55

一般演題21 / 教育 (スタッフの育成) ③

座長 太田 智子 (三重大学医学部附属病院)

- 0-21-1 A 大学病院のフライトナース教育期間の検討
▶佐藤 愛 (愛知医科大学病院 高度救命救急センター)
- 0-21-2 A 県ドクターヘリフライトナースに求められる力
▶越高 庸平 (秋田赤十字病院 救急外来)
- 0-21-3 フライトナースの OJT 教育の現場滞在時間への影響
▶菱沼 秀一 (獨協医科大学 看護学部)
- 0-21-4 A 病院の事例検討におけるフライトナースの視点
▶宮澤 恭子 (愛知医科大学病院 高度救命救急センター)
- 0-21-5 車内シミュレーション導入によるフライトナース育成
▶順藤 瑠奈 (大阪大学医学部附属病院 看護部 高度救命救急センター)
- 0-21-6 フライトナースの熟練度におけるフライトドクターとの協働の特徴
▶小野瀬祐亮 (埼玉医科大学総合医療センター 初療室)

12:00~12:45

一般演題22 / 消防・防災ヘリ 自衛隊 海保 その他

座長 伊藤 貴史 (救急災害医療研究所)

- 0-22-1 防災ヘリとドクターヘリの連携活動について
▶芝 将徳 (福井県防災航空事務所 防災航空隊)
- 0-22-2 防災ヘリとの活動を通して見えた佐賀県の新たな病院前診療の可能
▶小網 博之 (佐賀大学医学部附属病院 高度救命救急センター)
- 0-22-3 ドクターヘリ搭乗の医師、看護師が消防防災ヘリに搭乗した症例
▶別本 雅治 (鳥取県消防防災航空センター)
- 0-22-4 北海道消防防災ヘリ山岳事案の臨床的背景と救急救助活動の解析
▶谷口 圭祐 (北海道防災航空隊)
- 0-22-5 航空自衛隊固定翼機を用いた多数傷病者患者搬送の現状
▶中西 茂幸 (航空自衛隊 航空機動衛生隊)
- 0-22-6 Impella 補助下の心不全患者の航空自衛隊機での搬送経験
▶山口勝一朗 (新潟大学歯学総合病院 高次救命災害治療センター)

多目的室 1

9:30 ~ 10:30

一般演題 23 / 現場活動 (看護)

座長 山崎 早苗 (東海大学医学部附属病院)

- 0-23-1 複数傷病者事案で重症患者を看護師と救急隊で搬送した一例
▶古角祐太郎 (川崎医科大学附属病院)
- 0-23-2 不穏状態にある患者を安全に搬送できた 1 症例の報告
▶岩倉 由幸 (手稲溪仁会病院)
- 0-23-3 信州ドクターヘリ松本による患者搬送中の家族のニーズ
▶江原 寛士 (信州大学医学部附属病院 看護部)
- 0-23-4 ドクターヘリ現場活動における家族対応の実態
▶寺内 浩美 (獨協医科大学病院)
- 0-23-5 多職種連携を向上させるフライトナースの実践と必要な能力
▶原 郁乃 (大阪大学医学部附属病院)
- 0-23-6 福岡県ドクターヘリ外傷患者における現場活動時間の影響要因
▶深町由華里 (久留米大学病院 高度救命救急センター)
- 0-23-7 DC、DH の引継ぎ症例の DCNs 同乗の有益性と役割
▶小野山栄作 (公立豊岡病院 但馬救命救急センター)
- 0-23-8 A 病院フライトナースのプレホスピタルにおけるコンピテンシー
▶竹内 有香 (聖隷三方原病院 高度救命救急センター)

10:35 ~ 11:15

一般演題 24 / 現場活動 (医療)

座長 櫻井 聖大 (国立病院機構熊本医療センター)

- 0-24-1 ドクターヘリによる病院前輸血療法の記述と生存率との関連性
▶三浦 直也 (東海大学 医学部 救命救急医学)
- 0-24-2 ドクターヘリ機内に常備した輸血製剤管理の実際
▶藤川 周平 (埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター・看護部)
- 0-24-3 複数傷病者対応でのちに重症と診断された事案の症例報告
▶薄井 和哉 (独立行政法人 国立病院機構 水戸医療センター)
- 0-24-4 脳卒中疑い症例のドクターヘリと陸路の搬送時間の比較検討
▶井上 智顕 (山口大学医学部附属病院 先進救急医療センター)
- 0-24-5 岐阜県内ゴルフ場におけるドクターヘリ要請の現状と課題
▶吉田 隆浩 (岐阜大学 医学部 附属病院 高次救命治療センター)

11:20~12:05

一般演題 25 / 固定翼

座長 奈良 理 (手稲溪仁会病院)

- 0-25-1 Medical Wings 出勤事後調査の結果を踏まえて
▶小野寺英雄 (北海道航空医療ネットワーク研究会 運航管理病院 医療法人溪仁会手稲溪仁会病院)
- 0-25-2 固定翼医療搬送コーディネーターの現況と課題
▶清水 優花 (中日本航空株式会社 運航管理部)
- 0-25-3 旅客機を使用した航空機搬送時の気管内カフ圧管理
▶迫部 恵美 (大分大学医学部附属病院 看護部 高度救命救急センター)
- 0-25-4 脳卒中で全介助が必要な患者搬送にビジネスクラスを使用した一例
▶葵 佳宏 (インターナショナル SOS ジャパン)
- 0-25-5 本州間での固定翼機を使用した施設間搬送の一例
▶濱岡 和弥 (三重大学 医学部附属病院 総合サポートセンター)
- 0-25-6 メディカルジェットを使用した患者施設間搬送の一例
▶須崎 真理 (三重大学医学部附属病院 高度救急救命・総合集中治療センター 看護師)

12:10~12:55

一般演題 26 / 施設間搬送

座長 新納 教男 (福島県ふたば医療センター附属病院)

- 0-26-1 JSAS-R データを用いたドクターヘリによる施設間搬送の現状
▶高橋 治郎 (川崎医科大学 救急医学)
- 0-26-2 ドクターヘリにおける安全で円滑な施設間搬送への取り組み
▶柴崎 雅也 (国保直営総合病院 君津中央病院 救命救急センター)
- 0-26-3 外傷再建センターによるヘリ導入での外傷治療への挑戦
▶安武 祐貴 (新百合ヶ丘総合病院 外傷再建センター)
- 0-26-4 REBOA 下の病院間ドクターヘリ搬送を行い救命した RAAA
▶宮崎 允宏 (久留米大学医学部 救急医学講座)
- 0-26-5 画像共有システムが有効であった心タンポナーデ合併急性大動脈解
▶国立 晃成 (和歌山県立医科大学 救急集中治療医学講座)
- 0-26-6 隣県ドクターヘリと患者搬送を協働したことで見えた課題
▶仲村 和樹 (社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救急救命センター)